

2025年 裏金政治、企業・団体とのゆ着やめさせ

くらし・環境・平和… 希望のもてる政治へ



都市農業公園にて

お困りごとの相談は
共産党へ

区議団

Tel.03-3880-5770
Fax.03-3880-5682

メールは
こちら



共産党足立区議団



ぬかが和子 (区議団長)

自宅 足立区伊興1-5-3 TEL3854-7159

はたの昭彦 (幹事長)

自宅 足立区大谷田5-27-15-403
TEL5697-1960

山中ちえ子 (副幹事長)

事務所 足立区花畑4-25-4 三吉野ビル1階
TEL3860-7265

横田ゆう (政策委員長)

事務所 足立区西伊興4-8-21 TEL3855-1587

小林ともよ (区議会議員)

事務所 足立区柳原2-4-1 TEL3870-4547

西の原ゆま (区議会議員)

事務所 足立区江北3-6-10 TEL3856-5634



斉藤まりこ (東京都議会議員)

事務所 足立区千住龍田町8-3
TEL03-3879-3629



ごあいさつ

新年を迎え、希望の持てる新しい政治を切り開く1年にしていく決意です。昨年の総選挙では、裏金疑惑などを暴いたしんぶん赤旗と日本共産党の追及で、自公与党の過半数割れという結果に追い込みました。日本共産党は、企業献金も政党助成金も一切受け取らない政党として、裏金政治、企業団体献金との癒着にストップをかけます。

日本共産党区議団は、今年も区民のみなさまの願いを区政に届け、命と暮らし最優先の政治へ全力でがんばります。

マイナンバーカード 紙の保険証の存続を

マイナ保険証の利用率は10月時点で15.67%にとどまっています。「マイナ保険証で大丈夫なのか」、「健康保険証が使えなくなるのではないか」という不安が広がっています。現場は混乱し、全国の自治体で問い合わせの電話が鳴りやまない状況です。それでも政府に追随し「問題はない」と言い張る区の姿勢は問題です。

足立区議会では、「紙の健康保険証を残すことを国に求める」陳情が、様々な団体から繰り返し提出されました。日本共産党は「健康保険証を残すことが国民皆保険制度の大前提」と採択を求めましたが、自民、公明、都民ファーストの反対で不採択になりました。

紙の保険証を残すことを求める陳情への各会派の態度(本会議)

自民党	公明党	共産党	都民ファースト	議会改革を進める会	結果
×	×	○	×	○	不採択

※会派内で態度が異なる会派は掲載していません。



発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 ぬかが和子
編集責任者 小林ともよ

2024年 第3回・第4回定例区議会報告 No.203

ためこんだ積立金
全国4位
1858億円

基金総額

1718自治体のトップ15

	市区町村名
第1位	大阪市
第2位	江戸川区
第3位	港区
第4位	足立区
第5位	江東区
第6位	世田谷区
第7位	葛飾区
第8位	渋谷区
第9位	仙台市
第10位	大田区
第11位	福岡市
第12位	千代田区
第13位	大熊町
第14位	練馬区
第15位	名古屋市

令和5年度決算審議で足立区のため込み金（基金）が1858億円に達したことが明らかになりました。これは全国1718ある地方自治体の中で上から4番目となる金額です。1年間で42億円も増えました。使い道が決まっていない財政調整基金は485億円。物価高騰で日々のやりくりで苦労する区民の暮らしをよそに、ため込み金を増やし続ける区の姿勢に批判の声が出るのも当然です。

日本共産党はため込み金の一部を活用し、くらしを支える施策の実施を求めています。

区民の施設は廃止・縮小

大型開発・道路建設は特別扱いですめる

近藤区政は、「人口減少」をことさら強調し、新たに発表した公共施設等総合管理計画（素案）で「40年後に人口が11%減少するとして600ある区公共施設面積は11%（13.5万㎡）減らす」「あたらしい公共施設は原則建設しません」と打ち出しています。これはスタートラインから間違った前提（基金額を258億円も少なく規定）で、財政論

から施設の縮小を区民に強いるものです。一方、基本計画（素案）では、大型道路（都市計画道路）は「施設ではない」として8年間で11km延長するといい、民間企業を中心とした「拠点開発」は8年間で現在の6カ所から16カ所に増やそうとしています。税金の使い方が問われるのではないでしょう。

廃止・縮小をうちだした施設

地域学習センター	貸出部屋は「生涯学習活動としての利用が少なく」として、「他施設を含めた類似機能の集約化の可能性を検討」
図書館	住民の強い願いである増設は一切ナシ。梅田八丁目複合施設は当初の計画に盛り込んでいた「100名規模の音楽・軽いスポーツもできる集会室」は予定変更でつぐらない
日光林間学園 東綾瀬公園温水プール	廃止を含め「今後の施設の在り方」を検討
公立保育園	今後14園を廃止し、16園に
学童保育室	待機児童が急増しているのに「待機児解消・大幅増設」の方針を事実上撤回。校内学童保育室と放課後子ども教室の一体化を推進
区民事務所	大幅縮小・廃止の懸念。区民サービス提供部分は縮小
小中学校	小学校69校を60校に、中学校35校を29校に減らす新たな「ガイドライン」を策定する

税の使い方が問われる

増設は唯一公共喫煙所だけ



しょうぶ沼公園内に設置した公共喫煙所

公共施設等総合管理計画（素案）で唯一税投入で増設を打ち出しているのが「公共喫煙所」です。この間区は区民ニーズのない場所にも次から次へと公共喫煙所を増やし、その総事業費は2億6000万円、維持管理費は一カ所につき毎年400万円です。



この化粧板の交換に3600万円

大型開発目白押し



現在、都内の各所で高層マンション・ビル建設が進んでいます。足立区も例外ではなく、エリアデザイン計画の名を借りた大型開発が、北千住駅東口、北千住駅西口、千住大川端、千住大橋駅前、綾瀬駅東口、西新井駅西口の6カ所で同時に進められています。ほとんどが30階を超えるタワーマンション建設が中心で、足立区の姿が大きく変貌しようとしています。開発に伴う学校、道路、下水などインフラ整備に多額の税負担も生じます。高層マンションは、日照や風害など近隣住民の生活へ大きく影響します。CO₂排出量も多く地球温暖化対策にも逆行します。「下町情緒を残す足立区らしさ」を壊すまちづくりが、区民の望む姿なのか問われます。



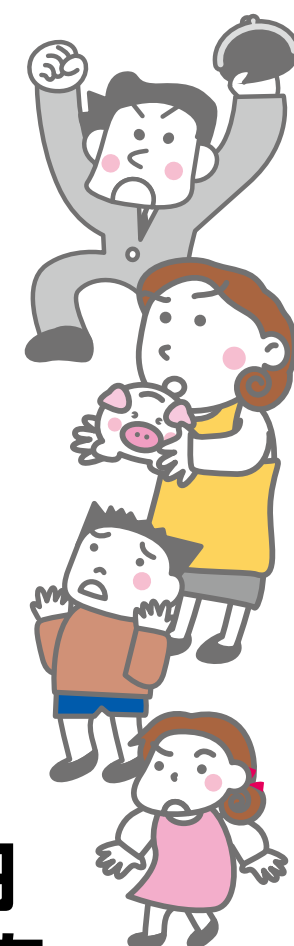
千住東口北街区（再開発予定図）



綾瀬駅前に建設中の32階建マンション



千住大橋駅前は足立区で最も高い42階建てマンション



ムダづかい

化粧板追加に3600万円 すこやかプラザあだち

江北エリアデザイン計画の中核施設でもある「すこやかプラザ あだち」が来年4月に開業予定ですが、あえて3600万円を追加し外壁の一部を凹凸のある化粧板に変更しました。

「この様なお金の使い方は問題」とくり返し指摘した日本共産党区議団の追及に区は「東京女子医大足立医療センターと街並みの統一性」「おのずと健康になるというエリアデザインのコンセプト」「眺めた時に違和感のないように」などと答えました。区民から「陽があたると全くわからない。こんなところに金を使うなんてどうかしている」の声がよせられています。

日本共産党区議団は「区民要望を最優先」にする提案をしました

共産党が提案 6421名の署名が力に

区政
史上初!

すべての足立区民が交通弱者とならないよう
持続可能な交通手段の実現を求める決議

全員一致で可決し区に迫る!



3つの決議項目

- 1 交通不便を解消すべき地域を定め、各地域の課題を解決するために継続した施策を計画・実行すること。
- 2 収支率など事業採算性の達成度のみを社会実験から本格運行への移行のための判断材料としないこと。
- 3 高齢者や障がい者、妊産婦等、移動に困難を抱える区民に対しても、福祉的観点で安全に移動ができるような施策を実現すること。

コミュニティバスや花畑ブンブン号などが次々と廃止・減便。民間タクシーも減っています。足立区の公共交通の充実を求める6421筆の陳情署名が区議会に出され、総合交通対策特別委員会で継続して審議中です。

共産党の提案が実り委員会として決議を発議し10月21日の最終本会議で、全員一致で議決する事ができました。更に花畑・千住常東地域では、ワゴン車等を活用した新たな「小さな公共交通」が、2025年夏に実現することになりました。

40団体との懇談

2000を超える区民アンケートの声を届け
1468項目の
予算要望書を区長に提出



2024年9月2日、日本共産党区議団は、2025年度の予算編成に向けて要望書を区長に提出しました。要望書は過去1年間の議会質問や区内40を超える団体の要望、更に16万世帯を対象にしたアンケートに寄せられた幅広い声を元に作成。切実な住民要望の実現を強く求めました。



斉藤まりこ都議と連携して 区民の願い届ける

シルバーパス・交通空白・舎人ライナー・
信号機・舎人公園・都道の改善など

7月18日から8月1日にかけて斉藤まりこ都議と共に東京都に関わる「シルバーパスの改善」「交通空白の解決」「舎人ライナーの混雑解消と安全対策」「区内各所の信号機の設置」「舎人公園や都道の改善」などの要望をまとめ、各関係機関に提出しました。



都庁会議室にて

